

Press Release

令和6年12月2日（月）午後5時
宮崎県高病原性鳥インフルエンザ防疫対策本部
宮崎県農政水産部畜産局

川南町における高病原性鳥インフルエンザが疑われる事例の発生について

(第1報)

本日、家畜伝染病「高病原性鳥インフルエンザ」が疑われる事例が川南町の肉用鶏農場で確認されました。

なお、現時点では、簡易検査でA型インフルエンザ陽性が確認されたのみで、「高病原性鳥インフルエンザ」と確定したわけではなく、現在行っているPCR検査において、陰性と診断される場合もあります。

同検査結果が陽性となった場合に備え、県では本庁に宮崎県高病原性鳥インフルエンザ防疫対策本部、児湯農林振興局に現地対策本部を設置し、併せて川南町においても対策本部を設置するなど、防疫体制を整備しています。

また、本日午後7時から、県庁本館講堂において「宮崎県高病原性鳥インフルエンザ防疫対策本部会議」を開催します。

1 農場の概要

所在地：川南町

飼養状況：飼養羽数 約3.5万羽（肉用鶏）

2 確認の経過

- (1) 本日午後1時40分、宮崎家畜保健衛生所が、当該農場から死亡鶏が増加した旨の通報を受け、農場立入検査を実施。
- (2) 本日午後3時10分、宮崎家畜保健衛生所が、当該農場において鳥インフルエンザの簡易検査を実施したところ、A型インフルエンザ陽性を確認。
- (3) 本日午後5時、宮崎家畜保健衛生所において、当該農場から持ち帰った検体について鳥インフルエンザの簡易検査を実施したところ、A型インフルエンザ陽性を確認。

3 当面の対応

- (1) 宮崎県高病原性鳥インフルエンザ防疫対策本部会議の開催

日時：令和6年12月2日（月曜日）午後7時～

場所：県庁本館講堂

※ 本部会議終了後に知事によるぶら下がり取材の場を設けます。

その後、県政記者室で担当課長等による記者会見を行います。

- (2) 確定検査（PCR検査）の実施

- (3) 防疫対応

- ① 周辺農場に対する移動自粛の要請
- ② 発生に備えた防疫措置の準備

4 その他

- (1) 我が国ではこれまで家きん肉、家きん卵を食べることにより、人に感染した例は報告されていません。
- (2) 現場での取材は、本病のまん延を引き起こすおそれがあること、農家の方のプライバシーを侵害しかねないことから、厳に慎むよう御協力をお願いします。
- (3) 今後とも、本件に関する情報提供に努めてまいりますので、生産者等の関係者や消費者が根拠のない噂などにより混乱することがないように、御協力をお願いします。

問い合わせ先

宮崎県畜産局

電話番号：0985-26-7140

担当：井上、黒木（豊）



宮崎県
Miyazaki Prefecture